

北津守小学校 みんなの笑顔・安心ルール

- 「北津守小学校 みんなの笑顔・安心ルール」は、子どもたちにがんばってほしいことを、あらかじめルールとして示しています。
 - 子どもたちが自分で取り組むべきことを自覚し、自らの可能性を伸ばすことができるよう促すことを目的として作成しています。
 - 子どもたちには日頃より、「基本的な約束ごと」に示されたことがらを心がけることを伝えています。
 - 学校は、ひとりひとりがルールを守って積極的に行動し、みんなが笑顔で過ごすことができる、「よりよい社会（学校）」を作っていくことをめざしています。
 - 学校は子どもひとりひとりの状況等も、全教職員で十分にふまえたうえで対応について判断します。また、全教職員で同じように対応していきたいと考えています。
- ※ 「北津守小学校 みんなの笑顔・安心ルール」の内容は、教育振興基本計画に示している学校の安心・安全のためのスタンダードモデルを参考にしています



【基本的な約束ごと】 ・きまりを守る ・自分も他の人も大切にする ・どんどんチャレンジする

	こんなことはやめようね		きまりをまもろう	自分も他の人も大切にしよう	どんどんチャレンジしよう
授業中は	■他の人の話の途中に、何か言ってじゃまをする ■他の人のまちがいや失敗を笑う ■よこをむいたり、わるい姿勢をしていたりする ■かんけいのないおしゃべりをする	⇒	□チャイムが鳴ったら、座席につこう □かかとをふまずに上靴をはき、両足の裏を床につけ、背筋を伸ばして座ろう □授業が終わったら次の学習の準備をしよう	□話をしている人の方へ、おへそを向けよう □話を聞きながら、うなずいたり、質問したり、つけたしたりしよう	□名前を呼ばれたら「はい」と返事をしよう □わからないことは、先生や友だちにたずねよう □1時間に1回以上発表しよう
休み時間には	■人がいない校舎のすみや階段などに行く ■チャイムが鳴っても遊びをやめない ■仲間はすれをする ■他の人がいやがることを言ったり、したりする ■落書きしたり、物をこわしたり、すてたりする ■他の人の物をかくす	⇒	□トイレをすませてから遊ぼう □決められたボールの使い方や、運動場の使い方を守ろう □チャイムが鳴ったら、すぐ教室にもどろう □あわてないで、くつばこに正しくくつを入れよう。	□友だちと話すときは「あったか言葉」を使おう □困っている人や泣いている人がいたら「どうしたの」と声をかけよう □意見が違っててもめていたら、他の人も聞いてあげて、けんかにならないように解決しよう	□休み時間は遊んだりおしゃべりしたりしよう □自分たちで解決できないことは、先生に話そう □音楽や体育の学習で習ったことを、休み時間に試してみて、うまくなるように練習しよう
集会活動では	■集合に遅れてくる ■集合しても自分のおしゃべりを続けている ■お話や説明を聞いていない ■他の人ができないことを笑う ■とちゅうであきらめて活動をやめてしまう	⇒	□時間におくれないように集まって整列し、集会が始まるのを待とう □全員が楽しく参加できるように、順番や約束を守って活動しよう □お話や説明を聞くときは、静かにしよう	□話をしている人の顔をしっかり見て聞こう □「がんばれ」「よかったよ」「～すればいいよ」などの声をかけよう □苦手だと思っている人には、やさしく声をかけたり、手伝ってあげたりしよう	□できないこともあきらめず、何度も挑戦しよう □じょうずな人のやり方をよく見てまねしよう □できることは、もっとじょうずになるように取り組もう
そうじのときは	■そうじに遅れてくる ■おしゃべりばかりしている ■じっとして、そうじをしていない ■時間が終わってもそうじしている	⇒	□チャイムが鳴ったら、すぐそうじ場所に行っではじめよう □それぞれの場所のそうじの仕方のとおりにそうじをしよう	□そうじの分担をみんなで協力してやろう □自分のそうじ分担が終わったら、まだ終わっていない人を手伝おう	□自分の分担場所を、そうじ時間内にきれいにしよう □もっときれいになる方法を担当の先生に言って、ためしてみよう
ろうかでは	■走る ■うるさくする ■教室で学習している人をからかう	⇒	□右側通行をしよう □走らずに静かに歩こう	□人とすれちがうときは、「どうぞ」とゆすりあい、ゆずってもらったら「ありがとう」と言おう	□元気よくあいさつをしよう
学校が行う対応	・個別に対応します（その場で注意、家庭連絡、自己を振り返る活動 など）		望ましい行動とはどんなものか、具体的に教えていきます。望ましい行動がしやすくなるよう、環境を整備していきます。望ましい行動ができたときには、認めたりほめたりして、さらに意欲が高まるようにします。		

